

戦没者追悼式から何が平和なのか考えてみよう

「平和の詩」を読んで、あなたは何をポケットの中に入れておきますか

この季節になると、あらためて「平和」について考える機会が多くあります。先日の6月23日は沖縄慰霊の日に戦没者の追悼式が行われました。夏休みに入ると、出校日を使って8月6日・9日の「広島・長崎の原爆投下」について学習します。また、8月15日は「終戦記念日」です。私たち日本人として、戦争について、原爆について、そして身近な争いや差別について、見つめ直す機会にしてほしいと願います。

下記に紹介する詩は、沖縄県の沖縄市立山内小学校 2年徳元 穂菜(ほのな)さんが『こわいをして、へいわがわかった』という題名で、式典の中で朗読した全文です。みなさん、この平和の詩を一読し、平和について考えてください。また、それと同時に日々の生活の中で、あなたにとっての「平和」って何なのでしょう。その「平和」は友達や周りの人にとって「平和」なのでしょう。「平和」とは、人それぞれ見方・考え方によって様々です。そんなことを考える夏にしてほしいです。

平和の詩「こわいをして、へいわがわかった」

沖縄市立山内小学校2年 徳元 穂菜(ほのな)

びじゅつかんへお出かけ
おじいちゃんやおばあちゃんも
いっしょにみんなでお出かけ うれしいな
こわくてかなしい絵だった たくさんの人がしんでいた
小さな赤ちゃんや、おかあさん
風ぐるまやチョウチョの絵もあったけど
とてもかなしい絵だった
おかあさんが、七十七年前のおきなわの絵だと言った
ほんとうにあったことなのだ
たくさんの人たちがしんでいて ガイコツもあった
わたしとおなじ年の子どもが かなしそうに見ている
こわいよ かなしいよ かわいそうだよ
せんそうのはんたいはなに？
へいわ？ へいわってなに？
きゅうにこわくなって おかあさんにくっついた
あたたかくてほっとした これがへいわなのかな
おねえちゃんとけんかした
おかあさんは、二人の話を聞いてくれた
そして仲なおり これがへいわなのかな
せんそうがこわいから へいわをつかみたい
ずっとポケットに入れてもっておく
ぜったいおとさないように なくさないように
わすれないように
こわいをして、へいわがわかった

Victory Road 6月号



6月の *Victory Road* は、各部活動のキャプテンが中学生最後の夏季の大会や展示会・発表会に向けて決意を語っていただいています。

空手の県大会が終わりましたが、先日の土日から本格的に大会が始まりました。

新型コロナウイルス感染症対策のため各競技の人数制限、一般生徒の応援は禁止となっていますが、みなさんで、応援しましょう。

※校外で活動しているクラブチームの選手も紹介しています。習い事の生徒も是非、*Victory Road* にアップしましょう。

自分の頑張りを表現することも大切です。